

ネット上の情報の精査とそれを活かした勉強法

近年のインターネットの普及化により、社会はインターネットを通して様々な情報がやり取りされるようになりました。

しかし、その中には根拠のない情報や、デマも含まれています。

そのような状況の中、勉強にそれらの情報を活用するにはどうしたらいいのかを、自身が行っていることを参考に書いていきますので、参考になれば幸いです。

1. 情報を精査する際の考え方

私が情報を精査する上で、まず目を付けるのが“誰が発言しているか”です。発言者が分からない情報や、そのことについて関係の薄い人の情報は、発言に責任が伴わないためか、あまり信用ならないものがほとんどです。そのため、発言者が何者か記載されており、なおかつ情報について深く関わっているかを知ることは、正確な情報を得る上で重要になります。

次は“何を根拠としているか”です。情報とは根拠があって初めて信頼されるものであり、ほとんどの情報には大抵根拠が記載されています。しかし、稀にその根拠が信用ならないものであった、なんてこともありえます。そうなるとその情報は途端に信用性の薄いものになります。ですので、載っている根拠に対しても懐疑的な目を持って判別すると良いでしょう。

2. 具体的に勉強に落とし込むためには

それでは、上記のように情報を精査した後に“勉強”に利用するためにはどんなことに気を付ければ良いのでしょうか。

勉強に利用するにはその情報が“正しいか”を見極めなければなりません。ですが、それを判断するには私たちに判断できるだけの基礎知識が無ければいけません。学生のためそこまで多くの知識はないかもしれません。そんな時に教科書や図書館にある参考書は補うツールとなります。もちろん先生方に質問することも大事です。

最後に

現在では様々な情報がネット上にありインスタントに情報を得ることが出来ます。そんな早く、簡単のように思えるインターネットですが、根拠をはっきりとしなければならず、かえって時間のかかるものです。

ですが、インターネット上でしか見ることの出来ない情報もあり、情報を探す手間が少なく便利です。なので、ネットリテラシーをしっかりと持ったうえで、積極的に活用していきましょう！